

参考：「八戸市民栄誉賞」受賞者一覧

受賞年度	受賞者名	功 績
H 元	三 浦 哲 郎 (作家)	長年にわたる作家活動の中、芥川賞受賞、日本芸術院会員に選任されるなど、郷土の誇りとして市民から深く敬愛されるに至っている。
H 8	原 富士男 (外交官)	長年にわたり外交官として活躍し、退官後は国際交流協会顧問として、本市の国際化に貢献。
H10	佐々木 泰 南 (書道家)	長年にわたる書道の研鑽と後進の指導により、日本の書道芸術向上に貢献するとともに、国際的な書道交流に寄与し、本市の名誉を著しく高揚した。
H11	鈴 木 継 男 (事業者)	ガス事業者として多大な功績を残すとともに、絵画等の寄贈により本市文化の振興に寄与。
H16	伊 調 馨 (レスリング)	第 28 回オリンピック競技会アテネ大会レスリング競技女子 63kg 級において金メダルを獲得し、多くの市民に夢と希望を与えるとともに、当市の名誉を著しく高揚した。
H16	伊 調 千 春 (レスリング)	第 28 回オリンピック競技会アテネ大会レスリング競技女子 48kg 級において銀メダルを獲得し、多くの市民に夢と希望を与えるとともに、当市の名誉を著しく高揚した。
H18	野 澤 要 一 (立行司) [第 33 代 木村庄之助]	日本の国技である大相撲における行司として永年精進を重ね、行司の最高位である 第 33 代木村庄之助を襲名されたことにより、当市の名誉を著しく高揚した。
H24	学校法人光星学院 光星学院高等学校硬式野球部	第 84 回選抜高校野球大会において青森県勢として初の準優勝に輝き、当市の名誉を著しく高揚した

参考：「八戸市民栄誉大賞」受賞者一覧

受賞年度	受賞者名	功 績
H20	伊 調 馨 (レスリング)	第 29 回オリンピック競技会北京大会レスリング競技女子 63kg 級において前回のアテネ大会から 2 大会連続の金メダルを獲得し、多くの市民に夢と希望を与えるとともに、当市の名誉を著しく高揚した。
H20	伊 調 千 春 (レスリング)	第 29 回オリンピック競技会北京大会レスリング競技女子 48kg 級において前回のアテネ大会から 2 大会連続の銀メダルを獲得し、多くの市民に夢と希望を与えるとともに、当市の名誉を著しく高揚した。